

写真の振り返るを

平成元年 >>> 平成9年

平成元年 4月 町内3中学校が統合されて厚真中学校誕生 -------

平成2年 3月 幌里小学校68年で閉校

10月 独居のお年寄り対象の緊急通報システム稼働

12月 町民ビデオドラマ「厚真川の唄」完成

平成3年 3月 楢山・幌内両小学校90余年で閉校

4月 早来運輸(株)があつまバス(株)に社名変更

7月 胆振東部消防組合設立20周年記念式典

12月 厚真葬苑完成

平成4年 5月 厚真デイサービスセンター完成

6月 藤原正幸氏が3代町長に就任(4期16年在職)

6月 厚真・早来(現安平)・鵡川(現むかわ)の各森林組合の

広域合併により胆振東森林組合が誕生

8月 集中豪雨で被害総額約35億7千万円

平成5年 天候不順で戦後最悪の大凶作

2月 防災行政無線開局

10月 初の小中学生海外(カナダ)派遣

平成6年 12月 厚幌ダム建設事業予算が国の平成7年度予算に盛り込まれる

12月 勇払東部地区国営かんがい排水事業実施設計採択

平成7年 3月 上厚真小学校校舎新築

4月 厚幌ダム建設事業着手

12月 全天候型多目的土間体育館あつまスタードームオープン

12月 町で初の1等米出荷率100%達成

平成8年 1月 高齢者事業団発足 (現シルバー人材センター)

9月 町100年記念式典挙行

9月 谷内信雄氏が4人目の名誉町民に

9月 町100年記念事業 ------

9月 北島三郎さんが揮ごうした「田舎まつり記念碑」建立

12月 交流促進センターこぶしの湯あつまオープン

平成9年 8月 厚真中央小学校開校100周年記念式典

8月 大雨により被害総額約2億円

10月 表町・京町地区の土地区画整理事業を実施する 厚真町厚真中央土地区画整理組合を発足



楢山中学校・幌里中学校・厚真中 学校が統合して新生「厚真中学校」 が誕生しました。



8月8日から9日にかけての低気圧 による豪雨で、町内では多くの田 畑が水害で壊滅状態となりました。





明治30年に苫小牧外六カ村戸長役場から分離・独立し、自治体として歩み始めて100年。

記念式典をはじめ、NHKのど自慢の 全国生放送や炬火リレーなど多くの記 念事業が行われました。

ひとのうごき

平成31年4月15日現在 ()内は前月比

州 人 口 4,561人 (+2) 男 2,276人 女 2,285人

一 世帯数 2,145世帯 (+ 3)

4月1日~4月15日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

広報あつま

2019年5月号

もくじ CONTENTS

2 ひとのうごき

3-5 厚真の平成を振り返る

6-7 まちの家計簿

8-10 まちの人事

11-13 お知らせ

14 市民後見人養成講座/臨時職員募集

15 気象台ノート/こぶしの湯あつま

16-17 3月~4月のあつま

18 厚高インフォメーション/まちのアイドル

19 クラブ・サークル・少年団・同好会活動紹介

20 地域包括支援センター

21 健康情報

22 保健の掲示板

23 子育て支援センター

24 各種健診(検診)日程

25 情報ひろば

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます。 http://www.town.atsuma.lg.jp/office/



明日の厚真への"愛"ことば



今月の表紙 COVER



この子が生まれ、育つ 令和の時代。

新たな時代に想いを馳せつつ、今回の特集は平成はどのような時代だったのか、次代を担う厚真っ子に伝えられるよう平成の厚真を思い返します。

____広報あつま R1.5_

平成20年 >>> 平成31年

平成20年 1月 第1回雪上3本引き大会開催 ------

6月 第36回田舎まつり本祭会場を厚真ダム広場から 表町公園に変更

7月 宮坂尚市朗氏が4代町長に就任

12月 町議会のインターネット配信開始

平成21年 4月 町営のブロードバンドサービスあつまネット供用開始

12月「ゆうしげ」「あつまみらい」が、ハスカップとして 19年ぶりに品種登録

平成22年 4月 役場でパスポートの申請・受け取り事務開始

6月 宮崎県で発生した口蹄疫の影響であつま田舎まつりなどのイベントが中止

9月 町制施行50周年記念式典

9月 前町長・藤原正幸氏が5人目の名誉町民

平成23年 3月 富野小学校・軽舞小学校が110年余で閉校

3月 新興住宅地フォーラムビレッジ(豊沢)に居住者第1号

3月 約50年前に宇降で出土したつぼが愛知県常滑産と判明 …

4月 地域代表者会議で厚幌ダム建設を満場一致で承認

平成24年 3月 みつば保育園(富里)が閉園

4月 認定こども園つみき開園

5月 放課後子ども教室がスタート

平成25年 4月 子育て支援医療費還元事業で医療費を実質無料化

7月 家庭ごみ有料化スタート

8月 町公式キャラクター「あつまるくん」初お披露目 ------

11月 豊沢工業団地内で厚真町ソーラー発電所が始動

平成26年 2月 上野地区に大豆保管用低温貯蔵・常温集出荷貯蔵施設が完成

10月 厚幌ダム建設工事の安全祈願祭(本体工事着手)

平成27年 2月 名誉町民・前厚真町長の藤原正幸氏の町葬に約600人が参列

4月 まちなか交流館しゃべーるオープン

5月 ワタミ(株)が共和地区に、三井プラントシステム(株)が 浜厚真地区に太陽光発電所を開所

7月 厚真消防団が胆振地方消防訓練大会で初優勝

8月 厚幌ダム定礎修拔式・定礎式

平成28年 5月 宮の森こども園開園

9月 担い手研修農場で栽培したホウレンソウを初収穫・初出荷

9月 町120年記念式典挙行

平成29年 3月 さくら保育園(軽舞)閉園

11月 天皇・皇后両陛下がご訪問

12月 町慰霊式

平成31年 1月 復興イベント「絆~手と手を繋いで頑張ろう厚真」開催



冬の1日を町民の方々に楽しんでもらおうと発案された新競技で、第1回大会には一般16チーム、小学生4チームが参加し、農協青年部が優勝しました。



中世陶器第2期(1150-1174年)のものとしては北海道初、最北の発見となりました。



デザインは一般公募作品の中から厚 真町キャラクター総選挙により決定。 8月18日に行われた集まリンピッ クで初お披露目となりました。



町民の悲願でもある厚幌ダム供用 開始に向けた試験湛水を開始。



| 9月6日3時7分、厚真町を震源とするマ | グニチュード6.7の大規模な地震が発生、 | 北海道初となる震度7を記録しました。 | (写真提供:国土交通省北海道開発局)

平成10年 >>> 平成19年

平成10年 3月 増補「厚真町史」発刊

3月 厚南デイサービスセンター完成

3月 苫東厚真発電所 3 号機運転開始

7月 高規格幹線道路日高自動車厚真インターチェンジ開通 -----

10月 厚真・鵡川漁協合併で鵡川漁業協同組合発足

12月 厚真中央小学校校舎新築

9月 富野小学校開校100周年記念式典

11月 上厚真小学校開校100周年記念式典

平成12年 3月 北海道初のオール電化方式の学校給食センター完成

9月 軽舞小学校開校100周年記念式典

11月 鹿沼小学校開校100周年記念式典

12月 高齢者グループホームやわらぎ、高齢者生活福祉センター、 高齢者生活自立支援センターならやま開設

平成13年 2月 胆振東部6農協合併でとまこまい広域農業協同組合発足

6月 ハートフルタウンあつま (表町) の宅地分譲開始

9月 台風15号と秋雨前線による大雨で被害総額約10億7千万円

10月 穀類乾燥調製貯蔵施設カントリーエレベーター (現たんとうまいステーション)完成

平成14年 2月 初の冬のイベント「光のページェントinあつま」I(ランタン祭り)開催

8月 苫東厚真発電所 4 号機運転開始

9月 新日本海フェリーが苫小牧港東港と福井県敦賀港を 結ぶ直行航路開設

10月 厚幌ダム建設工事安全祈願祭

平成15年 4月 循環福祉バス運行

9月 十勝沖地震で震度5強を記録、厚南中学校校舎などに被害

12月 胆振東部5町合併問題・広域行政問題協議会設置

平成16年 3月 鹿沼小学校103年で閉校

3月 公共下水道の終末処理場厚真浄化センターが完成し 下水道が一部地域で供用開始

4月 京町保育園が新築され開園

9月 台風18号で被害総額約8千万円

平成17年 3月 十勝沖地震で被害を受けた厚南中学校の新校舎完成

8月 浜厚真野原公園サッカー場が本格オープン

平成18年 1月 厚幌1号トンネル貫通式

平成19年 1月 戸籍の電算化システム稼働



高規格幹線道路「日高自動車道沼ノ端西 I C~厚真 I C」が開通したことにより、日高自動車道苫東道路が全線開通となり、主要都市へのアクセスが向上しました。



浜厚真の苫小牧港東港と秋田、 新潟、福井県敦賀を結ぶ航路 が就航しました。



冬の厚真を盛り上げようと町民有志--が組織した実行委員会により市街地や周辺には約3,000個のアイスキャンドルが並べられました。



総合ケアセンターゆくりは、町民 の病気と介護予防などを目的に建 設されました。



貫通を祝い、工事関係者による樽みこしが坑内を練り歩く樽みこし通り抜け の儀などのセレモニーが行われました。